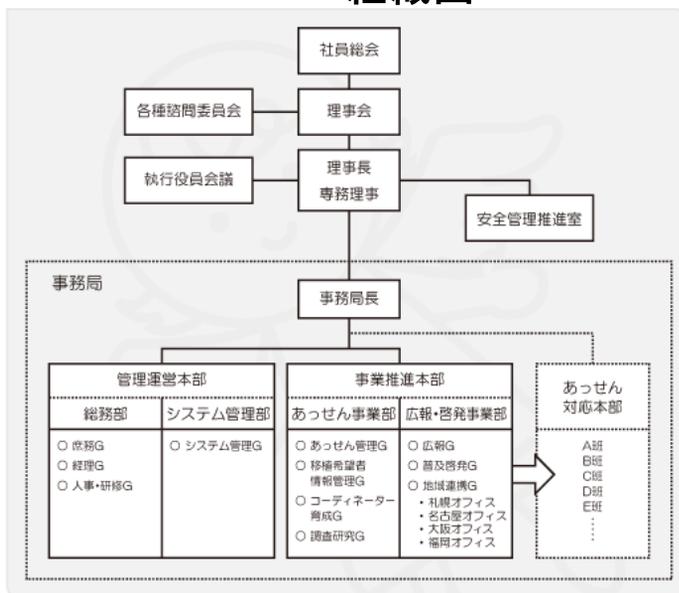




公益社団法人日本臓器移植ネットワーク 理事  
 相川 厚



## 公益社団法人日本臓器移植ネットワーク 組織図



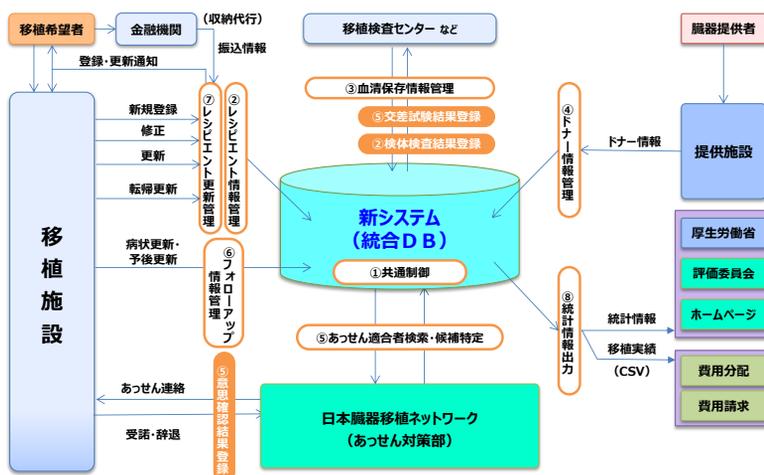


## 次期レシピエント検索システムの開発について

1. 汎用性、オープン性を確保した技術や製品を利用
2. 統合データベース
3. 検体管理システム機能の具備
4. 個人の経験値に依存する運用からの脱却
5. 標準化された情報体系、国際基準の導入

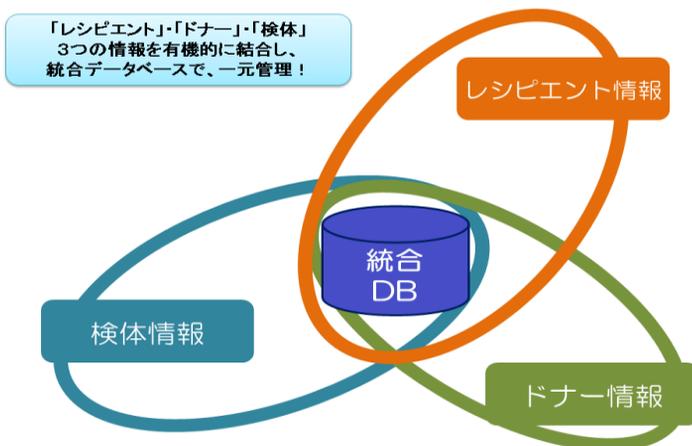


## 次期レシピエント検索システム システム実装機能関連図

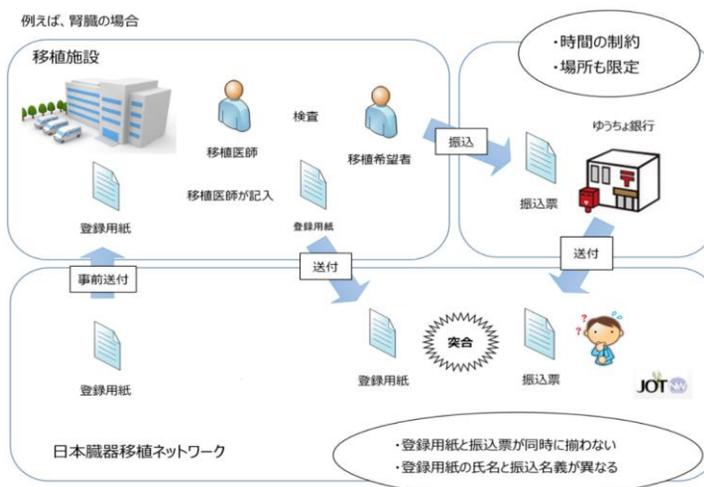




## 統合データベース構築によるデータの連携



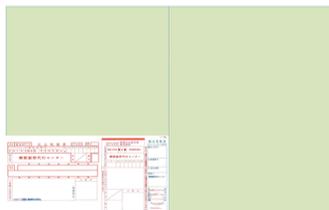
## 移植希望者登録管理業務（現状）





## 移植希望者登録管理業務(改善その1)

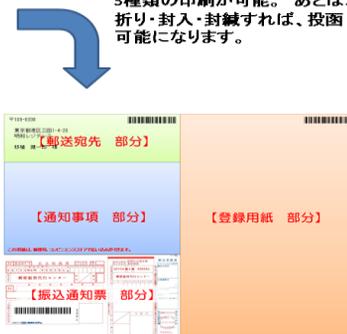
登録用紙の統一化(汎用化)と、印刷処理



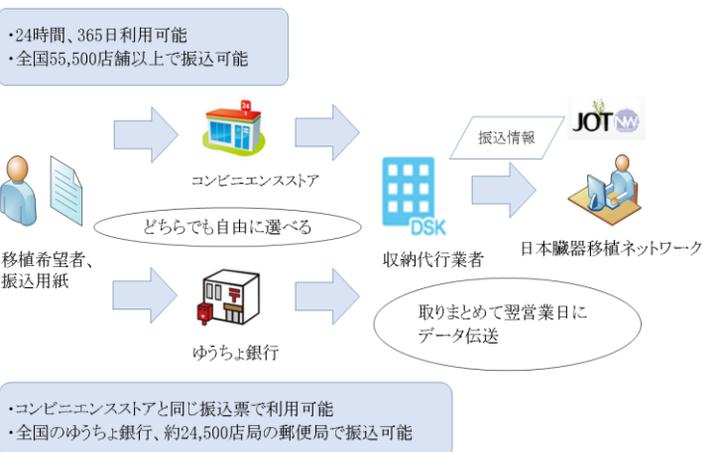
汎用用紙は、①登録用紙、②更新用紙、③再請求(督促)として活用!

振込通知票部分は、CVS、郵便局共通で処理されます。

1種類の用紙をプリンタに入れておくだけで、プログラムから、3種類の印刷が可能。あとは、折り・封入・封緘すれば、投函可能になります。

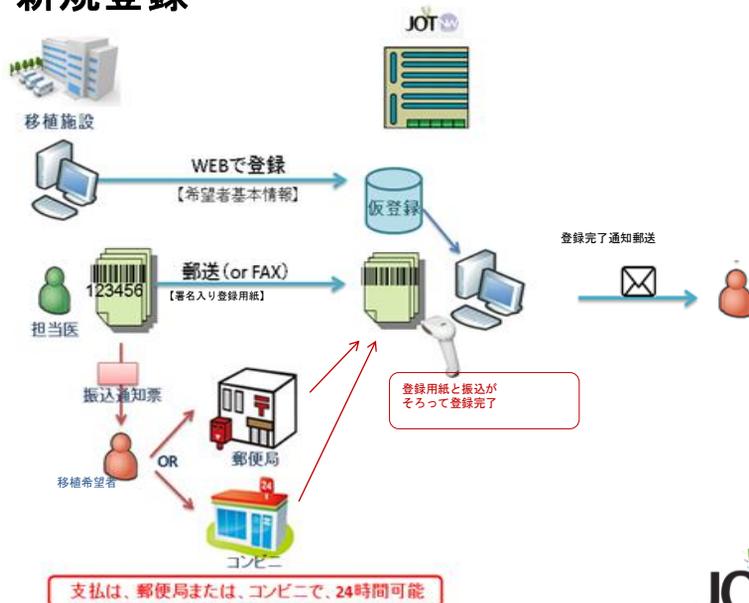


## 移植希望者登録管理業務(改善その1)





## 新規登録

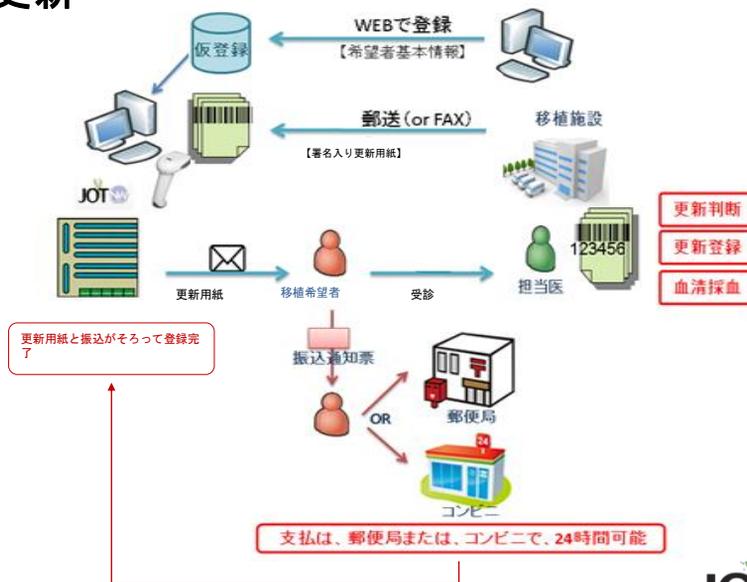
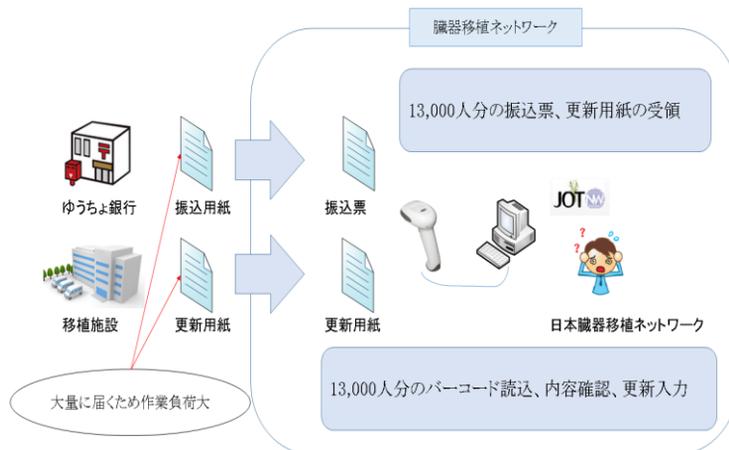


## 新規登録

課題1 移植施設からのweb入力

課題2 新規登録用紙の管理  
振込用紙に有効期限が設定されている。







## 更新登録

課題1 年一回から誕生日月の更新へ

課題2 課題1による切替時期の検討

課題3 移植病院での受診、採血



### 腎臓移植希望登録者の皆様へ (重要なお知らせ)

- 平成28年4月1日以降、腎臓の移植希望登録の方が登録の更新手続きをする場合、**腎臓移植を希望する施設(腎臓移植希望施設)**で年に1回以上の診察を受けることが**必須条件**になります。
- このため、平成28年4月1日から平成29年3月31日までに腎臓の移植を希望する施設で受診していない場合には、平成29年4月1日以降の腎臓移植希望登録の更新ができなくなります。
- これに伴い、登録更新用紙に署名する医師は、腎臓移植希望施設の医師でなければなりません。

(※透析施設の医師の署名では更新できなくなります。)

#### <移植実施施設の方へ>

平成27年11月10日付けの「腎臓移植施設資格基準に基づく資格更新予定のお知らせ」により再周知させていただいており、平成28年4月1日以降腎臓移植施設の資格を更新するためには、自施設での移植希望登録患者に対し、年1度以上の適切な評価が必須条件となっており、その経過措置が平成28年3月31日をもって終了しますので、自施設で腎臓移植を希望している登録患者様の評価をしていただきますようお願いいたします。



## 腎移植実施施設資格基準の見直し

公益社団法人日本臓器移植ネットワーク  
移植施設委員会  
2016年7月18日

### 腎臓移植施設資格基準更点

- 1年に1回以上、腎移植登録施設での診察と評価が必要である。
- 腎移植を担当する外科医、又は泌尿器科医のうち、少なくとも1人以上は腎臓の摘出術及び移植術を合わせて10例以上行い、**そのうち5例以上は腎移植手術の術者であること。**
- **更新期間の3年間で3例以上の腎移植を実施していること(生体腎・死体腎を問わない)。**
- **レシピエント移植コーディネーターがいること。**

レシピエント移植コーディネーターとは移植医療に係る適切な研修を受けた看護師で移植後患者指導管理料を申請できる資格をもつものとする。